

No73 開胸手術/胸腔鏡下手術(区域切除以上)を受ける患者様へ

病棟 号室 患者氏名:

主治医:

担当医:

担当看護師:

ご署名()

病名:

特別な栄養管理の必要性 有 無

経過	入院日～	手術前日	手術当日術前	手術当日術後
月日	/	/	/	/
治療や処置	入院時にネームバンドを付けます 	髭を剃ってください。	内服薬()のみ朝内服してください。 手術30分前になったら弾性ストッキングをはいてください。 動かないことで「深部静脈血栓症」や「肺塞栓症」(一般的にはエコノミー症候群と言います)という合併症を引き起こす可能性があります。 ①弾性ストッキングの装着、血栓予防の機械を足につけます。 ②足が動くようになったら、積極的に両足首や膝の曲げ伸ばしをしましょう。	酸素マスク、心電図モニターがつけます。 持続点滴をします。 胸の管が入ってきます。 背中から痛み止めの管が入ってきます。 痛みが強いときや発熱時は、坐薬や注射を使います。 術後1回痰を出しやすくするために吸入を行います。 痰は積極的に出しましょう。
検査や測定	手術前に必要な検査を行ないます。 24時間クレアチニンクリアランス検査を行います。 決められた時間尿をためていただき腎臓の働きを調べます。(別紙参照)	体重測定をします。 口腔外科の診察があります。	手術室に向かう前に検温をします。 	手術直後は、15～30分ごと、そのあとは2, 3時間おきに検温をします。
食事	普通食です。 医師の指示で治療食となる事があります。	夕食までは通常通り食事が出ます。 夜9時以降、食事はできません。経口補水液(OS-1)を飲み始めます。(パンフレット参照)	午前手術の場合は午前6時30分以降、午後手術の場合は午前10時以降飲水できません。	飲食は出来ません。 うがいは出来ます。
清潔	シャワーをお使いになれます。	シャワーを浴びてください。 胸、脇下にマジックでマーキングをします。		
排泄			手術室へ入室前に、排尿排便を済ませておいてください。	手術中より尿の管が入ってきます。
活動/外出	病院内自由です。			ベッド上安静です。寝返りは出来ます。
説明/指導	禁煙してください。 禁煙出来ない場合は、手術は中止となります。  看護師より手術についての説明があります(/) 	手術前日、当日に飲んでいただく薬について説明します。 手術前日までに主治医から手術の説明があります。 手術室の看護師が病室に伺います。 手術室に持参するため以下のものを準備してください。 ・前開きの寝衣一枚 ・T字帯一枚	身に付けているもの(ピアス、かつら、時計、入れ歯、指輪など)をはずして下さい。歩いて手術室へ行きます。 	主治医からの説明があります。 
その他		手術前日までに手術同意書、輸血承諾書を書いて看護師に提出してください。		

経過 月日	術後1日目	術後2日目	術後3日目	術後4～6日目	術後7日目～退院まで
治療や処置	<p>医師の指示により酸素の量が減ります。</p> <p>食事の摂取量によって点滴の本数が変わります。 1日2回抗生剤の点滴を行います。</p> <p>1日3回痰を出しやすくするために吸入を行います。</p> <p>内服薬（鎮痛剤・去痰剤など）が処方されます。医師の指示により持参薬を再開します。</p> 	<p>医師の診察により術後2～6日目までの間に胸の管が抜ける予定です。</p> <p>胸の管が抜けたら、心電図がモニターがはずれます。</p> <p>背中痛み止めの管を抜きます。医師の指示により、酸素の量が決まります。</p> <p>食事の摂取量によって点滴の本数が変わります。</p> <p>1日2回抗生剤の点滴を行いません。 1日3回痰を出しやすくするために吸入を行います。</p>	<p>1日2回抗生剤の点滴を行いません。</p> <p>1日3回痰を出しやすくするために吸入を行います。</p>		<p>創の抜糸を行います。胸の管が入っていた所の抜糸を行います。</p> <p>日常生活ができるようになったら退院です。</p>
検査や測定	<p>採血を行います。 胸のレントゲンをベッド上で撮ります。</p> <p>検温は1日4回行います。</p> 	<p>胸のレントゲンを1階に撮りにいきます。 検温は1日3回行います。</p> 	<p>採血を行います。 胸のレントゲンを1階に撮りに行きます。 検温は1日3回行いません。</p>	<p>適宜レントゲン、採血があります。</p> <p>検温は1日3回行いません</p>	<p>適宜レントゲン、採血があります。</p> <p>検温は1日3回行います。</p>
食事	<p>レントゲン確認後医師の指示により水が飲めます。 昼から食事が始まります。</p>				
清潔	<p>体を拭きます。</p>	<p>体を拭きます。 胸の管を抜いた後はその部分に防水テープを貼り全身シャワー可能です。</p>	<p>管が抜けていない場合は体を拭きます。抜けていればシャワー可能。</p>	<p>管が抜けていない場合は体を拭きます。抜けていればシャワー可能。</p>	<p>管が抜けていない場合は体を拭きます。抜けていればシャワー可能。</p>
排泄	<p>尿の管を抜きます。（トイレに行けます）</p>				
活動	<p>病棟内自由です。</p>	<p>病院内自由です。</p>		<p>患者さんの状態によって退院日を決めます。</p>	
説明・指導	<p>始めに歩く時は看護師が付き添います。 回復のために積極的に歩きましょう。 胸の管に注意してください。 痰は積極的に出しましょう。</p>				<p>退院についての説明をします。</p>